

Jazz Guitar Lesson

For Jazz Beginner 【11】



Mistletoe Music School

<YouTube 動画URL>

<https://youtu.be/Ct8pVCq8-Qo>

ロックギタリストのための

ジャズギター入門シリーズ！【11】

ジャズに初めて挑戦する方を応援する「ジャズギター入門シリーズ」第11回目は「伴奏課題：ウォーキングベースを作るための基礎」「ソロ課題：オルタードについて」です。いよいよ本格的なジャズらしい内容になってきました。

【伴奏課題】

－ ウォーキングベースを弾くための基礎作り －

第5回講座 (<https://youtu.be/ZnrOMZGV2Tw>) では、Bluesでウォーキングベースの練習をしました。枯葉のコード進行はブルースと違い、M7、m7、7th、m7♭5など、コードの種類が多いため、Bluesのように全てのコードで同じ動きのベースラインにすることは出来ません。今回から本格的なウォーキングベースの作り方を伝授していきます。

－ まずは2ビートから －

4ビートのベースラインの基本はいつもトライアド（三和音）です。C Chordであれば「ドミソ」、Dm Chordであれば「レファラ」です。いきなり4ビートの実例を弾くよりも、まずは1小節を2分音符で2音。Root、3rd、5thを使用して演奏します。その前にまず、2つのニュアンスの違いを動画でしっかり聴いてみましょう。（<https://youtu.be/Ct8pVCq8-Qo?t=112>）

－ Swingのニュアンス －

まず、ベーシストのウォーキングのサウンドを注意深く聴くことをお勧めします。時代により差がありますが、Swing期よりも50年代以降のジャズの方が良いと思います。

4ビートも、今回の2ビートであってもSwingsするリズムを感じられるように正しいニュアンスでの演奏が何よりも大切です。それぞれの音符の前に装飾音を導入します。下記の譜面のようにアップピッキングで音にならない程の短い音符を導入します。音は押弦した音でも構いませんが、私は開放弦です（動画を注意深く聴いてみてください）Cm7に対して6弦開放弦（E音）を演奏することは出来ませんが、これは音符として認識出来る長さで演奏された場合の話です。ここでは装飾音として導入しているだけですので、6弦開放弦の使用は可能です。

－ 上達までのルール －

ツーファイブ・フレーズは練習していて楽しいですね。ウォーキングベースだって、1拍ずつどんどん動いてコードを導入するとカッコいいですね。そのような例題を出すのは簡単なのですが、今回は「なんちゃってジャズギター」ではなく、上達までのルールに乗った本格的な講座です。挫折しないように最初はシンプルなものから、少しずつ難度を上げていきます。



- Rootと3度による2ビート -

9 Cm7 10 F7 11 B♭M7 12 E♭M7

13 Am7 ♭5 14 D7 15 Gm7 16 G7

1 Cm7 2 F7 3 B♭M7 4 E♭M7

5 Am7 ♭5 6 D7 7 Gm7 8 G7

- Rootと3度、Rootと5度による2ビート -

The following table summarizes the chord sequence and fretboard diagrams shown in the image:

Measure	Chord	Root Fret	3rd Fret	5th Fret
1	Cm7	3	3	-
2	F7	1	5	-
3	BbM7	6	5	-
4	Ebm7	6	6	-
5	Am7b5	5	8	-
6	D7	10	9	-
7	Gm7	10	6	-
8	G7	3	5	-
9	Cm7	3	3	-
10	F7	1	5	-
11	BbM7	6	8	-
12	Ebm7	6	13	-
13	Am7b5	12	11	-
14	D7	10	12	-
15	Gm7	10	10	-
16	G7	10	7	-

【ソロ課題】

－ 3度とRootを2分音符で連結 －

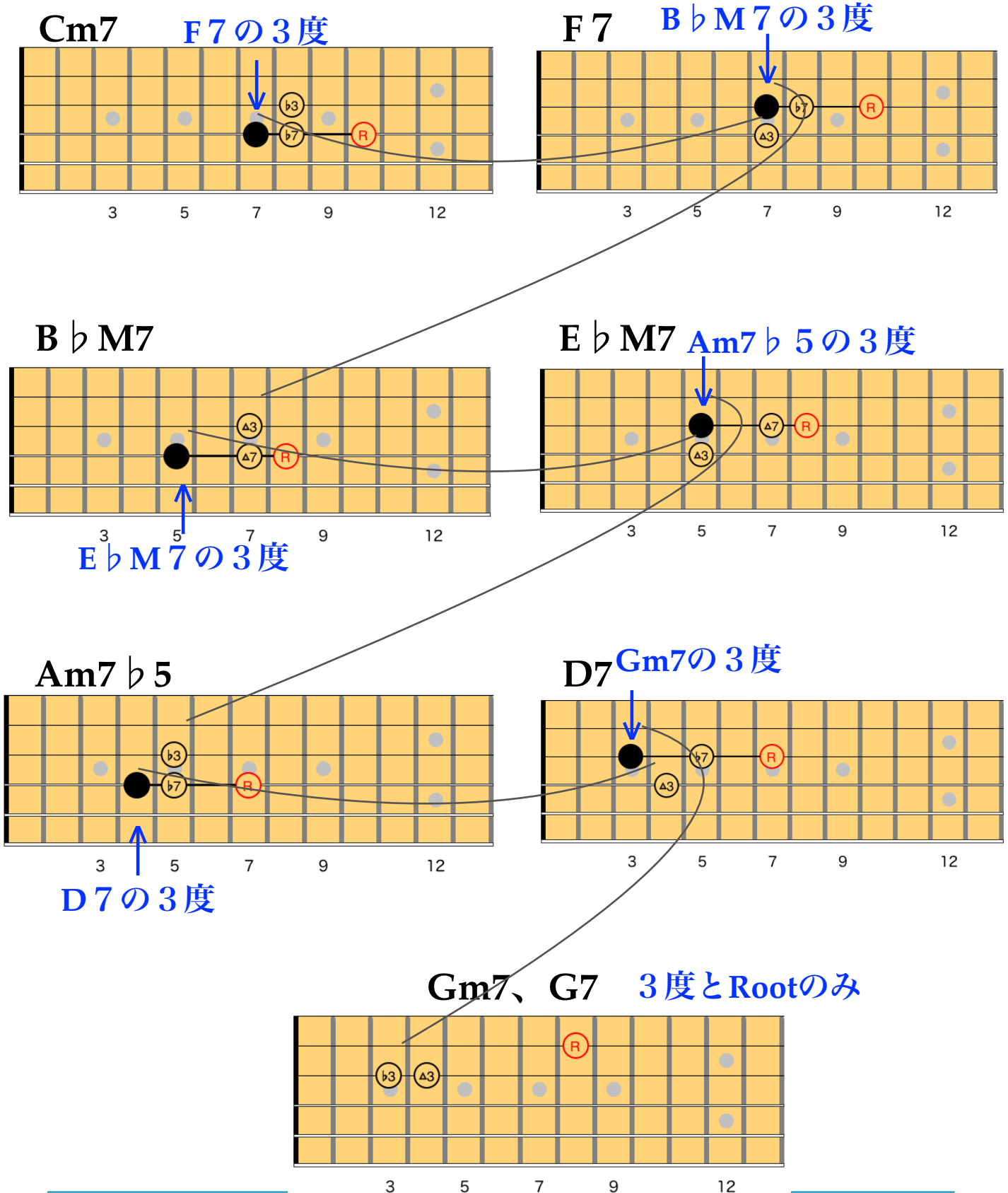
前回は枯葉のコード進行を3度→7度と演奏して連結をしました。今回は3度→Rootを練習しましょう。まずは2分音符で演奏します。必ず3度→Rootの順序です。またRootの音は3度より低い方にあるとは限りません。下記の例題では前半に低い方のRoot、後半に高い方のRootを演奏しています。

The exercise consists of four systems, each with two measures of music. The key signature is G minor (one flat). The chords and fretboard diagrams are as follows:

System	Measure	Chord	Fretboard Diagram (Notes)
1	1	Cm7	8, 10
	2	F7	7, 8
2	3	B♭M7	7, 8
	4	E♭M7	5, 6
3	5	Am7 ♭5	5, 7
	6	D7	4, 5
4	7	Gm7	3, 5
	8	G7	4, 5
5	9	Cm7	8, 13
	10	F7	7, 10
6	11	B♭M7	7, 11
	12	E♭M7	5, 8
7	13	Am7 ♭5	5, 10
	14	D7	4, 7
8	15	Gm7	3, 8
	16	G7	9, 8

- 3度→Root→7度、次のコードの3度-

次にRootの音から次のコードの3度へ連結をします。



- 実例 -

Example musical score showing two systems of music. The first system contains four measures with chords Cm7, F7, BbM7, and EbM7. The second system contains four measures with chords Am7b5, D7, Gm7, and G7. Each measure includes a guitar TAB line with fret numbers.

- オルタード -

まず最初に、「オルタード・スケール」は覚える必要はありません。この複雑な音階は覚えるだけで時間を要します。また、覚えたところで適切に使用しなければ効果がありません。そもそもコード進行は「緊張と緩和」を繰り返しながら、楽曲というストーリーを展開します。この「緊張」を感じさせているのが、7thコードです。この不安定な7thコードが着地する時に緊張感が緩和されて、良い響きとなります。

オルタードはこの不安定な7thコードを、より不安定にさせる音のグループだと考えましょう。（極論ですが不安定であれば、オルタード・スケールでなくとも何でもアリです。）今回は「b9th」（※Rootの1オクターブ上の更に半音上）を絡めてみましょう。重要なので何度も書いてしまいましたが、着地出来なければいけません。今回の例では、次の小節の1拍目の3度音を絶対に外してはいけません。半拍ズレ込んだらアウトです。

Example musical score focusing on altered 7th chords. It shows two systems. The first system has F7 and BbM7. The second system has D7, Gm7, G7, and Cm7. Red circles and arrows highlight the b9th alteration in F7, BbM7, and G7. A large red circle labeled "b 9th" points to these alterations.

- 実例 -

Example musical score in C minor, 4/4 time. The score consists of two systems, each with a treble clef staff and a guitar TAB staff. The first system contains measures 1-4 with chords Cm7, F7, B♭M7, and E♭M7. The second system contains measures 5-8 with chords Am7♭5, D7, Gm7, and G7. The TAB staff shows fingerings and fret numbers for each note.

- 3度→♭9thへ -

Musical score for the '3度→♭9thへ' (3rd degree to ♭9th) exercise. It follows the same structure as the example, with two systems of treble and guitar TAB staves. The first system contains measures 1-4 with chords Cm7, F7, B♭M7, and E♭M7. The second system contains measures 5-8 with chords Am7♭5, D7, Gm7, and G7. The TAB staff shows fingerings and fret numbers, with specific emphasis on the 3rd degree and ♭9th intervals.

▼投げ銭応援箱 <https://www.paypal.me/mistletoepay/1000>

Paypalを使用した投げ銭箱です。額は自由に変更できます。
まだまだ制作頑張ります。応援、宜しくお願い致します。



【ジャズギターレッスンのお話】

－ バランスの重要性 －

私のジャズレッスンには、「本格的なジャズギターレッスン」と、ジャズっぽく弾ければOKの「楽しいジャズギターレッスン」を用意しています。入会される方の99%が本格的なジャズギターを希望されます。ただ、内容が難しくなってくると、どこか楽しめていないような生徒が増えてきます。ここが踏ん張りどころです。

ジャズの即興演奏はどなたでも演奏可能なのですが、「出来なくなる要因」の1つに「練習的な演奏と楽しむ演奏」のバランスが取れていないということが挙げられます。「1コード毎に音を追い掛けていく練習」は地味ですし、苦しい練習です。これを面白いと感じられたらスムーズに上達していけるのですが、「もっと早くジャズ・フレーズを弾けるようになりたい！」と思う方にお伝えしたいこと。

誰かに師事していれば、シンプルだけど重要な練習を「やらされる」ことになります。私はやらせてくれた師匠に今でも感謝しています。やらされていると感じていた練習が、1年経った時には「上達までのルールに乗れている」と思えました。ただ、「カッコいいフレーズを弾きたい」欲求はありましたから、Joe PassのソロギターのTAB譜付きコピー集を弾いてジャズを “とりあえず” 楽しむ練習と並行しました。

では、独学ではどうでしょうか。こんな練習をされていて本当に上手くなるのかな？と、疑問が沸いたら、そこで練習をやめてしまい「近道探し、教本物色」・・・ジャズの根本的な練習をせず、短時間で弾けた気になれる「派手でカッコいいフレーズ練習」が中心となり、メジャースケールと覚えた幾つかのフレーズだけのソロが見事完成します。最初は楽しいのでこれで良いのですが、次第にマンネリ化して教室の門を叩くことになります。

レッスンをしていても、美味しいフレーズは好きだけど、地道な練習は興味がないのか、練習しない方が稀にいらっしゃいます（笑）特にそこそこ弾ける経験者の方に多い傾向です。フレーズ練習ばかりやってきて、ある時点から上達出来ず、伸び悩んだから教室へいらして下さったのに、レッスンで独学と同じことを繰り返してしまいます。レッスンでは、そんなご自身に気付いていただけるように、あの手この手でこっそりと訓練を取り入れていきます。

「こっそり＝生徒さんのツボを突くこと」なんです。「なんちゃってギター」でも構いません。学習者はジャズを楽しまなければいけません。今日は練習なのか、楽しむのか、明確にしましょう。私自身はギターに触らない日は少ないですが、練習しない日は結構あります！そんな日は、ただギターで遊んでいる日。1日ぐらいサボったって技術はそんなに落ちませんよ。時には割り切ってギターを楽しんでくださいね。バランスが大切です。